TRIBUNE SHIKOKU

編集部では、読者の皆さんからの情報提供や投稿を募集しています。また当社HP上にて、NET-NEWS（￥8,400）を設け、最新情報を発信しています。

情報提供や購読希望の方はご連絡ください。
☎ (088)664-5004
FAX(088)664-4809
E-mail-tribune@mail.planning21.ne.jp

トリビューン tribune しこく

昭和31年2月27日 第三種郵便物認可　第1607号 令和7年9月15日（月曜日）

《毎月5・15・25日発行》
発行所 ㈱トリビューンしこく
〒770-0874 徳島市南沖洲2丁目4-10
電話(088)664-5219　FAX(088)664-4809
年間購読料 7,500円
阿波銀行県庁支店/口座番号・普通0318279
徳島銀行県庁支店/口座番号・普通5283742
郵便振替口座/01650-6-22468
【掲載記事、写真等の無断転用を禁止します】

まつしげカレーフェスタ
カレーのお店やカレー関係のお店が全国各地から大集結
ぜひマツシゲートへお越し下さい。
日時：10月25・26日 10:00～15:00
場所：マツシゲート
お問い合わせ：088-699-5030

とりびゅーん・しこく

徳島市内のホテルX。年間売上は約二十億円と増収だが、金融機関からの借入金は約三十億円。三期連続一億円以上の赤字。株主から「メインバンクの阿波銀行に「融資を回収できるのか」と金融庁のチェックが入らないか」。

次期衆院選徳島二区からの出馬説が流れる医師で後藤田知事実兄の後藤田卓志氏。九月に入り夫婦で首長や県議、市議、メディア関係者らと相次ぎ面会。「弟の威光を笠に着た行動か」と県政を二分させる泥沼選挙が懸念されている。

破綻した?! 駅周辺の再開発構想
ゼネコンが総スカン 難航する新ホール

変容したまちづくりのグランドデザイン

行き当たりばったり県政の象徴例が徳島駅周辺の再開発構想だ。まちづくりのグランドデザインで青写真を描いたが、構想はなし崩し的に大きく変容していった。

ポイントは駅北エリアのにぎわいづくりと公共施設、JR車両基地の再配置だった。駅北にアリーナとにぎわい拠点を整備。既存のJR車両基地を文化センター跡地に移設する。

文化センター跡地で整備事業が進んでいた新ホールは藍場浜公園を対象にした設計施工一体型だった。施設運営は指定管理者制度を導入し、公募プロポーザルで指定管理者を選定する予定だった。

再公募では、事業費、工期、仕様の三点セットは変えず、デベロッパー等の参加を促すために、設計・施工・運営を一体にした提案を求める公募プロポーザルになりそうだ。

参考事例が京都アリーナ。設計・施工・運営の三位一体公募を行い、伊藤忠商事を代表とする企業グループが落札した。設計は梓設計、施工は大林組。電通も構成員だ。

公募内容変更で応募者現れるか、再公告

設計・施工一体型から、設計・施工・運営の三位一体型へと公募内容を劇的に変更予定の新ホール。行き当たりばったり県政の一例だが、はたして応募者が現れるのか。

ネックになるのが一六二億円の工事費だ。一回目の公募では「一六一億円ではとても無理。少なくとも七十億円足りない」とゼネコン各社から総スカンを食らった。

再公告でデベロッパーがやる気になっても、建設工事担当のゼネコンがチームに入らないと話にならない。ゼネコンの協力をいかに取り付けるかが再公告の鍵になりそうだ。ゼネコンも忙しそうだ。

使途非公開の運航支援金、国際定期便

日年末から就航した韓国、香港との定期航空便も光と影が交錯する。韓国便は搭乗率七四%と好調だが、発着時間が不評。香港便は搭乗率四九%と不調で九月から運休する。

八月末までの運航実績は韓国便が〇七往復、香港便が九五往復。航空会社等への支援金など誘致コストの総額が四億二千万円。韓国、香港あわせて一往復当り二〇八万円だ。

問題は支援金の使途だ。航空会社や旅行会社への補助金、情報発信の委託料、事務費等だが、どの航空会社にいくら払ったかという使途実態は県議会に対しても非公開だ。

県は「航空会社との守秘義務」を非公開理由に挙げるが、支援金には、着陸料の二分の一など補助要綱に規定された補助金と航空会社との個別協議で支払う支援金がある。

個別協議の支援金は、人件費など航空会社の実情を配慮して積算しているようだが、「支援金くれないなら運航打ち切る」と足元を見られ、言い値でぼったくられている恐れがある。

「金で買った国際定期便」ということだが、原資は県民の血税。複数の航空会社や旅行会社を競合させるなど、外国企業の上手を行く国際交渉力を発揮すべきだ。

実態反映しているか、観光消費額予測

就航から八月末まで四億二千万円の誘致コストがかかった韓国、香港便。県はインバウンド客の観光消費額を十億六千万円と発表したが、実態を反映しない机上の空論金額だ。

十億六千万円の積算根拠は観光庁データ。同庁によると訪日外国人の一人一泊当たりの旅行支出は韓国が約二万六千円、香港が約三万六千円。この金額に総泊数をかけただけだ。

例えば、韓国の旅行客五人が県内で一泊した場合の観光消費額は、五人×二万六千円＝十三万円ということだ。問題はこの一人一泊二万六千円が全国平均の金額だということだ。

LCCで来徳、一泊した韓国人観光客が宿泊費や飲食費として二万六千円を支出しているのか。実態を把握するためには、机上の空論に頼らず、県がアンケート調査すべきだ。

「業者が決まらない」、立往生する新ホール、任期中の完成は絶望的

唯一残った新ホール整備事業も暗礁に乗り上げている。業者選定の公募プロポーザルを行ったが、応募者ゼロ。県は九月中に再公告するが、公募内容が劇的に変わりそうだ。一回目の公募は設計会社とゼネコン

目に余る「場当たり行政」
徳島県 二年が過ぎた後藤田県政

二年の折り返し点を過ぎた後藤田県政。徳島新時代の実現を目指し、「安心度」「魅力度」「透明度」の3UP戦略を打ち出す。躍動やワクワク感をキーワードにした徳島新時代プロジェクトだが、徳島駅周辺の再開発や新ホールのように政策展開にはなぜか行き当たりばったり感が付き纏う。貯金を取り崩し、施策のスピードアップを図るが、県庁内からは将来的な財政運営に危機感も。実績が問われ始めた場当たり県政…。

謎に包まれた運航支援金 国際定期便

公開質問状
仁木厚労副大臣殿
（徳島一区選出）

徳島市 過大請求問題

厚労省管轄
足元で起きた「公金詐取」

仁木博文厚労副大臣殿、貴職は今年四月、生活保護費国庫負担金の徳島市による過大請求問題について、「五年以内のものについては返してもらいたい」との見解を示されましたが、貴職の部下は「笛吹けど動かず」です。九月上旬、厚労省の監査官が徳島市を監査しましたが、過大請求問題はノータッチ。「何のために来たのか」と市担当者が拍子抜けしたほどのお粗末なピンボケ監査でした。貴職は徳島市のイオン前の事務所に「日本を治療する」と小泉進次郎氏が泣きますよ…。ト看板をデイカデカと掲げますが、このままでは「ヤブ医者」ならぬ「ヤブ副大臣」の烙印が押されるだけです。次期首相の呼び声高い進次郎氏が泣きますよ…。

五年間で約五千万円の国庫負担金を詐取していた徳島市

釈迦に説法かも知れませんが、徳島市の国庫負担金過大請求の問題点は、生活保護受給者に払い過ぎた保護費を放置し、国に返すべき負担金を詐取していたということです。

生活保護費の財源は四分の三が国庫負担金、四分一が市費です。例えば十二万円の払い過ぎが判明したら、受給者から回収し、九万円を厚労省、三万円を徳島市に返す必要があります。

払い過ぎた生活保護費は「返納金」と呼ばれるものですが、徳島市は少なくとも過去二十五年間、「調定」と呼ばれる事務作業を行わず、ほったらかしにしていました。

市の調査では、厚労省に返すべき国庫負担金は、過去五年間だけで約五千万円。二十五年間なら、単純計算で約二億五千万円。億単位の国費を徳島市は騙し取っていました。

国費の詐取問題は現在、徳島市議会の百条委員会が調査中です。八月二十一日には森本生活福祉第二課長が過大請求の原因を「監査で隠蔽を繰り返した結果だ」と証言しました。

「五年以内の過大請求は返却してほしい」とコメントしていた仁木厚労副大臣

「過大請求」と表現される国庫負担金の詐取問題について、本紙は今年四月、厚労副大臣である貴職に対し、「厚労省は調査を行うのか」と対応を質問しました。

国庫負担金を詐取された厚労省は被害者の立場ですが、過去何度も徳島市を監査しています。厚労省にも監査で過大請求や詐取を見抜けなかった責任があります。

貴職は徳島一区の衆院議員です。足元で発覚した国庫負担金の不適正支出について、厚労副大臣、国会議員という二つの公的立場からチェックする責務があります。

本紙取材に対する貴職の回答は「官僚に調べさせたが、徳島市が調査中で詳細がわからない」「五年以内のもの（過大請求）については返してもらいたい」というものでした。

厚労省がお粗末なピンボケ監査 小泉進次郎氏が泣きますよ?!

過大請求問題はノータッチ、拍子抜けの厚労省監査

「官僚に調べさせた」とコメントした貴職ですが、徳島市に対する厚労省の監査からは、過大請求の実態解明や被害弁済、再発防止等の本気度が全く感じられません。

九月三日～五日の三日間、厚労省の生活保護担当者が来県。県庁と徳島市役所を監査しました。メンバーは梁矢佳範生活保護監査官と上野充貴事務官の二人でした。

監査官らは四日と五日の二日間、徳島市役所で監査を行いましたが、国庫負担金の過大請求問題はノータッチ。厳しいチェックを覚悟して身構えていた市側を拍子抜けさせました。

市側が「国庫負担金問題は追及しないのか」と確認すると、監査官の答えは「あくまで定例の監査。国庫負担金については追及する予定はない」というものでした。

県によると、今回の監査は施行事務監査と呼ばれる定例監査で、徳島市を監査することは昨年から決まっていたとのことです。過大請求問題に絞った監査ではないとのことです。

過大請求問題が百条委員会で調査中の真っ最中に実施された厚労省の監査。たとえ事前に予定された定例監査であっても、詐取疑惑が浮上する過大請求問題は監査すべきです。

市議会百条委員会が調査中の過大請求問題を現地監査でチェックしない厚労省。問題意識が欠落したお粗末なピンボケ監査です。監査官の職務怠慢も明白です。

過大請求問題の対策問われる厚労省

仁木厚労副大臣にお尋ねします。貴職は今回の厚労省による徳島市監査を知っていたのでしょうか。知っていた場合、過大請求問題の監査を指示しなかったのでしょうか。

知らなかった場合は監査官を「なぜ過大請求問題を監査しなかったのか」と叱責すべきです。現場で過大請求を指摘しない監査は「問題はない」との誤ったイメージを与えます。

貴職は徳島市のイオン前事務所に小泉進次郎農相とのツーショット看板をデカデカと掲示。「産婦人科医の本業にちなんで「日本を治療する」とアピールしています。

厚労副大臣として過大請求の病巣を知りながら、調査や対策を打ち出さず病巣を放置することは、「ヤブ副大臣」の烙印を押されるだけです。

厚労副大臣としての時間は残り僅かです。病巣を放置せず過大請求問題に処方箋を発行すべきです。このままでは「日本を治療する」と共に誓った進次郎氏が落胆の涙を流すだけです。

見～つけた!! 街角美人 NO.151

宮本影子前町議

今回は高知の小粋な街角美女。日本と台湾の国際交流イベントで出会った。名前は梅本さやかさん。有名ラウンジのオーナーだ。店名は「琴魚（きんぎょ）ばち」。梅本さんは元売れっ子の芸妓。「琴魚」の名前で活躍。店にもその名前を付けたという。

「きんぎょには癒し効果があるんです」と語る梅本さん。「高知に来たときは、琴魚はぢ、お忘れなく」。さわやかで豪快な土佐美人だ。

机上の空論？ 十億六千万円のインバウンド消費効果

リニューアル説浮上、あすたむらんど

指定管理者制度の見直しもむらんだ。来年三月末でネオビエントとの契約が切れるが、県は新管理者を決める公募プロポーザルを発表していない。

理由は県が施設の抜本的なリニューアルを考えているからだ。一説では民間の資金とノウハウを活用し、最先端のテクノロジーを導入したテーマパーク化を検討しているという。

ハード、ソフト両面の抜本的なリニューアル構想を進めるために、来年四月からはネオビエントとの契約の一年延長や県直営など暫定的な運営方式が検討されているようだ。

相次ぐ巨大事業、懸念される財政危機

約一六一億円の新ホール、五百億円ともいわれるアリーナ、リニューアル構想が進むあすたむらんどと巨大事業が目白押しの後藤田県政。将来的な財政危機を懸念する声もある。

「財政当局は『このままでは将来予算が組めなくなるのでは』と危機感を持っているようだ。巨大事業で貯金が枯渇したら、職員給与カットが浮上する恐れも」（県議）。

一過性のイベント施策が目立つのも、行き当たりばったり県政の特徴だ。例えば九月補正予算。海外戦略のプロモーションが注目を集めるが、中長期的な政策予算が少ない。

はたして県庁の各部局では中長期的な課題に対応する政策の企画立案はできているのか。知事をサポートする副知事や政策監は政策づくりのブレーン機能を発揮しているのか。

構想力が乏しく思い付きで走る後藤田知事に付いていくのが精一杯の感がある知事戦略局。一過性のイベント施策だけでなく、将来を見据えた成長戦略を構築していくべき。

あなたの情報大募集!!
秘密厳守
守秘義務の徹底で情報提供者の方を必ずお守りいたします。

本紙記者が取材し、公益に反する問題点を徹底追及します。情報提供は本紙HPの情報提供フォームの他、メール、FAXでもお受けします。メールの場合は「返信先アドレス」をご記入ください。G-mailでも構いません。
「身元がバレるのでは」と懸念されるかも知れませんが、情報提供者のプライバシーは厳守しますので、ご安心ください。
社会に警鐘を鳴らす内部告発や情報提供をどしどしお寄せください。

〒770-0874
徳島市南沖洲2丁目4-10
㈱トリビューンしこく編集部
FAX：088-664-4809
TEL：088-664-5219
Eメール：tribune@mail.planning21.ne.jp
本紙ホームページ内の［情報提供］からも投稿できます。

購読料：年間 8,400円
トリビューン・電子版 tribune.web
購読申し込み頂くと、スマートフォンやタブレット、PCで最新号の閲覧ができます。ネットニュース（速報）もトリビューン電子版で。
お申し込みはHP www.planning21.ne.jp/tribune/ の申し込みフォームから

隙間の声 上板町 町長VS野党町議「ごみバトル」の行方は…

松田 卓男上板町長

「ごみ処理は町民に欠かせない事業」－松田町長

町長VS野党町議の「ごみバトル」の行方は…。板野町のごみ騒動が飛び火した上板町。広域組合への負担金をめぐる政争は、十月町長選の対立候補擁立にエスカレートするのか。

上板町は政争のまちで知られる。この四年間、松田町長と野党町議の対立が常態化していた。町議十二人のうち、町長与党が六人、野党が五人、中立が共産の一人だ。

組合への負担金予算を議会が否決

ごみ処理広域組合への負担金問題では、潜在していた政争が先鋭化した。松田町長が提案した約四、〇〇〇万円の負担金議案に野党と共産の六人が反対。否決された。

上板町は阿波市、板野町と一市二町で事務組合を構成。ごみ処理を共同で行ってきた。阿波市にある焼却施設が稼働期限を迎えたため、組合は新処理施設の整備に着手した。

この新ごみ施設整備事業に対し、板野町が「経費の根拠が不透明だ」と反発。令和十年三月末の組合脱退を決めた。組合は阿波、上板の一市一町の事業スキームで事業費を見直した。

松田町長が提案した組合への負担金予算は、組合が進める新ごみ処理施設の造成費や土地賃貸料の上板町負担分として、組合に約四、〇〇〇万円を支払うというものだ。

負担金議案が否決された松田町長は再議で対抗した。再議も賛成五人、反対六人で否決された。廃案になったかと思われた負担金議案だが、松田町長が隠し玉を投げ込んだ。

否決予算を町長が「強制執行」

義務費の「強制執行」ともいうものだ。地方自治法では、人件費などの義務費は再議で否決されても首長が執行できる。組合への負担金も義務費だということだ。

松田町長から「否決された予算を支出する」と通告された野党町議らは激怒。松田町長への対決姿勢を硬化させた。九月三十日告示、十月五日投開票の町長選への対応だ。

町長選は松田町長の無投票三選が濃厚な情勢だが、町民が立候補資料を選管から持ち帰るなど、野党町議らが対立候補擁立を模索しているともいわれる。

組合からの脱退を示唆する強硬論もある。一足先に脱退へ動いた板野町と組んでごみ処理事業を行うというものだ。負担金予算の否決も板野町議の水面下の暗躍が噂されている。

組合脱退の手法は野党議員による脱退議案の提案だが、一回目の採決で可決されても、町長が三分の二の賛成が要る再議を求めたら否決が濃厚だ。町民のことを考えると実現する可能性は低い。

潜在する政争が背景にある町長VS野党町議のごみバトル。松田町長への反発感情から組合への負担金予算を否決した野党町議だが、問われるのはごみ処理事業の将来ビジョンだ。

負担金予算反対の理由は「経費根拠の説明がない」とのことだが、組合や町は何度も説明している。例えば新施設の運営経費はトン当たり二万一、五〇〇円（リサイクル経費を除く）。他市町より安い。

組合からの脱退はごみ処理だけでなく、し尿処理がストップするリスクもある。上板町は阿波市、神山町と阿北環境整備組合を構成。阿波市の施設でし尿も処理している。

もし「阿波市とは一緒にやらない」とごみ処理組合から脱退すれば、阿波市民から「ごみだけでなく、し尿も自分で処理しろ」と反発の声が上がる恐れがある。

負担金予算にノーを突きつけた野党町議。ごみやし尿処理の将来ビジョンなき議会活動は、松田町長への反発感情をベースにした「町長ハラスメント」と指摘されても仕方あるまい。

「町長の女遍歴は…」SNSで事実無根の誹謗中傷

藍住町 投稿がバレ、辞職 宮本影子町議「猫にケータイ」の顛末…

宮本影子前町議

「町長の女遍歴は多数」の沼に入ったのは町長か？。妻子のある身で、現在別居中の町長の女遍歴は多数（2024年11月19日）。

「某町議会 誰でクズふたりを議運の正副委員長にしたのは？ ふたりとも前科あるらしいで～ 覚醒剤所持・不正受給・窃盗 投票した町民を疑わうだってよ」（2024年3月6日）。

投稿を知った高橋町長が発信者情報を開示請求。投稿者が判明した。同町の宮本影子町議（六五）だった。町長は議会に事実確認と再発防止を要望。議会が調査に動き出した。

大半が憶測や伝聞 投稿認め、議員辞職

九月三日に議員資質向上の調査特別委員会を開催。宮本町議を問い質した。宮本町議は投稿したことを認めた。投稿内容の大半は伝聞や憶測によるもので、事実無根だった。

宮本町議の答弁は町議らを仰天させた。宮本町議が「窃盗町議」として名を挙げた佐野町議が「窃盗って、何を盗んだのか」と問い質すと、「高校時代に子牛を盗んだ」。

「高校時代は六十年も前。子牛なんか盗むわけがない。根拠を聞くと、『人から聞いた』とのこと。呆れました。どう対応したらいいのか、わかりません」（佐野町議）。

議会は九月三日以降も特別委員会で宮本町議の投稿問題の事実確認を行う予定だったが、九日に宮本町議が辞職願を提出。事態が急変した。辞職理由は「一身上の都合」だった。

お騒がせ町議の辞職で幕切れかと思われたが、町議らは「事実確認が半ば」「投稿の真意が究明できていない」「謝罪がない」と反発。矛先を収める気配はない。

焦点は投稿の目的や意図。なぜ宮本氏は町長や町議らをこき下ろす誹謗中傷投稿を繰り返したのか。背景の一つとして指摘されるのが、町長選の度にヒートアップする政争だ。

十一月四日に告示される藍住町長選は、三選目指す高橋英夫町長と新人の三輪浩美氏の一騎打ちだ。構図は四年前と同じ。前回は高橋町長が一、八九〇票差で再選した。

町議だった宮本氏は四年前の町長選で三輪氏を支援。この四年間野党町議として高橋町長と対峙した。定数十六人の町議会は町長与党が十一人、野党が宮本氏を含む五人だった。

投稿の真意は？ 十一月に町長選

宮本氏の誹謗中傷投稿は、高橋町長や与党町議らのイメージダウンを狙ったネガティブキャンペーンだったのか。四年前の町長選でも高橋町長を中傷する噂が口コミで流された。

四年前は口コミ、今回はSNSと選挙の度に出現する高橋町長のネガティブキャンペーン。投稿者としての正体が暴かれた宮本氏の投稿の真意は一体何だったのか。

九月三日に議員資質向上の調査特別委員会を開催。宮本町議を問い質した。宮本町議は投稿したことを認めた。投稿内容の大半は伝聞や憶測によるもので、事実無根だった。

宮本町議の答弁は町議らを仰天させた。宮本町議が「窃盗町議」として名を挙げた佐野町議が「窃盗って、何を盗んだのか」と問い質すと、「高校時代に子牛を盗んだ」。

「高校時代は六十年も前。子牛なんか盗むわけがない。根拠を聞くと、『人から聞いた』とのこと。呆れました。どう対応したらいいのか、わかりません」（佐野町議）。

議会は九月三日以降も特別委員会で宮本町議の投稿問題の事実確認を行う予定だったが、九日に宮本町議が辞職願を提出。事態が急変した。辞職理由は「一身上の都合」だった。

お騒がせ町議の辞職で幕切れかと思われたが、町議らは「事実確認が半ば」「投稿の真意が究明できていない」「謝罪がない」と反発。矛先を収める気配はない。

焦点は投稿の目的や意図。なぜ宮本氏は町長や町議らをこき下ろす誹謗中傷投稿を繰り返したのか。背景の一つとして指摘されるのが、町長選の度にヒートアップする政争だ。

十一月四日に告示される藍住町長選は、三選目指す高橋英夫町長と新人の三輪浩美氏の一騎打ちだ。構図は四年前と同じ。前回は高橋町長が一、八九〇票差で再選した。

町議だった宮本氏は四年前の町長選で三輪氏を支援。この四年間野党町議として高橋町長と対峙した。定数十六人の町議会は町長与党が十一人、野党が宮本氏を含む五人だった。

投稿の真意は？ 十一月に町長選

宮本氏の誹謗中傷投稿は、高橋町長や与党町議らのイメージダウンを狙ったネガティブキャンペーンだったのか。四年前の町長選でも高橋町長を中傷する噂が口コミで流された。

四年前は口コミ、今回はSNSと選挙の度に出現する高橋町長のネガティブキャンペーン。投稿者としての正体が暴かれた宮本氏の投稿の真意は一体何だったのか。

グローバル・アシスト社の井原社長が不倫関係だった伊勢県薬剤師会副会長を訴えた民事裁判。地裁がグローバル社の請求棄却。井原社長は控訴するか、泣き寝入りか。